

2021年9月26日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第64巻第26号(通算3254号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072  
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10  
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

主任担任教師・牛田 匡 牧師  
担任教師・水谷 憲 牧師  
隠退教師・小林 達夫 牧師

# しゅうほう 週報

教会標語

かみさま ひと とち  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)  
<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027  
kyuho-church@koinonia.or.jp

郵便振替：00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」  
【集会案内】こどもの礼拝：毎日曜 10：15-10：30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝：毎日曜 10：30-11：30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5：5)

## せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい 聖霊降臨節 第19主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そ う もく と う ちよさくけんしやうめつ  
前 奏 (黙 禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ  
招きの詞 詩編 19編 2-5節

さんびか ばん ち つく  
賛美歌 21-59番「この地を造られた」(©JASRAC)

せいしよ せつ  
聖 書 エステル記 7章 1-10節

いの  
お 祈 り

さんびか ばん ちよさくけんしやうめつ  
賛美歌 21-515番「きみのたまものと」(©著作権消滅)

メッセージ 「神NGアウト」 岡嶋 千宙 伝道師

さんびか ばん へいわ どうぐ せつ  
賛美歌 21-499番「平和の道具と」(1-3節)(©JASRAC)

しゅいの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讃美歌改訂委員会)

ささげもの  
献 げ 物 (\*)

たんじやうしやしゆくふくしき  
誕生者祝福式 (\*\*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく ばん ちひろ せつ  
祝 福 岡嶋 千宙 伝道師

こうそう ばん ちよさくけんしやうめつ  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©著作権消滅)

ほうこく ばん せつ  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

\*\* みんなで今年度9月までにお生まれの方をお祝いいたします。

えんりよ もう で  
ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

招きの詞 詩編 19 編 2-5 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>2</sup>天は神の栄光を語り／大空は御手の業を告げる。

<sup>3</sup>昼は昼に言葉を伝え／夜は夜に知識を送る。

<sup>4</sup>語ることもなく、言葉もなく／その声は聞こえない。

<sup>5a</sup>その声は全地に／その言葉は世界の果てにまで及んだ。

そこへ神は太陽のために幕屋を張った。

(脚注 a：ギリシア語訳聖書による。ヘブライ語原典では「彼らの測り縄」)

聖書 エステル記 7 章 1-10 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup>王とハマンは、王妃エステルとの酒宴にやって来た。<sup>2</sup>この二日目にも王はぶどう酒を飲みながらエステルに言った。「王妃エステルよ、あなたが望むことは何でもかなえよう。あなたが願うのであれば、国の半分なりとも与えよう。」<sup>3</sup>王妃エステルは答えた。「王様、もし私が王様のご好意を得、そしてもし王様が良しとされるならば、私の望みをかなえて私の命を、私の願いを聞き入れて私の民を<sup>a</sup>お救いください。<sup>4</sup>私と私の民は売られて、根絶やしにされ、殺され、滅ぼされようとしています。もし私たちが、男も女も奴隷として売られただけなら、<sup>b</sup>その苦難は王様を煩わすほどのことではないので、私は黙っていたでしょう。」

<sup>5</sup>クセルクセス王は王妃エステルに言った。「そんなことをしようと心にたくらんでいるのは、一体誰か。その者はどこにいるのか。」<sup>6</sup>エステルは言った。「その苦しめる者、その敵は、この邪悪なハマンです。」ハマンは王と王妃の前に恐れおののいた。<sup>7</sup>王は憤ってぶどう酒の宴の席を立ち、宮殿の庭へ向かった。ハマンは王妃エステルに命乞いをしようとしてとどまった。王が自分に害を加えることが決定的になったのを見たからである。<sup>8</sup>王が宮殿の庭からぶどう酒の宴の建物に戻って来ると、ハマンがエステルのいた長椅子の上に身を伏していた。王は言った。「私のいる宮殿で王妃にも乱暴しようとするのか。」この言葉が王の口から出ると、人々はハマンの顔を覆った。<sup>9</sup>王に仕える宦官の一人、ハルボナが言った。「ちょうど柱があります。王様のためにより知らせを告げたモルデカイをつるそうと、ハマンが立てたもので、ハマンの家に立っています。<sup>c</sup>五十アンマもの高さです。」王は言った。「ハマンをその上につるせ。」<sup>10</sup>こうしてハマンは、自分がモルデカイをつるそうと用意した柱につるされ、王の燃えるような怒りは収まった。

(脚注 a：直訳「私にお与えください」、b：別訳「敵は王の損失に見合うものではないので」、c：1 アンマは約 45cm。50 アンマは約 22.5m)

《先週の礼拝より》9月19日 敬老の日（聖霊降臨節第18主日）礼拝

「老いることを語る」礼拝 聖書：ヨハネによる福音書 13章1-5節  
ローマの信徒への手紙 5章1-5節

みんなでお祈り

年をとることは、神さまからあたえられた「おしごと」。

そのつとめを大切に、長い人生を歩まれてきた人たちは、神さまからの祝福。

喜びいっぱいときも、つらく悲しいときも、神さまはいつも一緒でした。

受けるよりは与えること、持つことより手放すことの尊さを神さまは、教えてくださった。

失敗や病気、弱さの中に、深い意味と、神さまの愛が隠されています。

年をとることは、神さまがくださったすばらしい「いのち」。

私たちの人生をとおして、神さま、あなたを深く知らせてください。

（参照：『祈りのコンチェルト』日本キリスト教団出版局68-69頁）

「老いること」を語ることば①（「老齢について」）

老年は、わたしたちの生涯のひとつの段階であり、ほかのすべての段階とおなじように、その特有の顔、特有の雰囲気と温度、特有の喜びと苦悩をもつ。わたしたち白髪の老人は、わたしたちよりも若いすべての仲間たちと同じように、わたしたち老人の存在に意義を与える使命をもつ。ベッドに寝ていて、この世からの呼びかけがもうほとんど届かない重病人や、瀕死の人も、彼の使命をもち、重要なこと、必要なことを遂行しなければならない。年をとっていることは、若いこととおなじように美しく神聖な使命である。死ぬことを学ぶことと、死ぬことは、あらゆるほかのはたらきと同様に価値の高いはたらきである。

（出典：ヘルマン・ヘッセ『人は成熟するにつれて若くなる』草思社）

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 9月19日 敬老の日（聖霊降臨節第17主日）礼拝

礼拝出席 大人4名 子ども1名 （中継動画再生数12回）

（この他、特別養護老人ホーム・大阪好意の庭と第二好意の庭の入居者の方々も、ZOOM オンラインミーティングにて、ご一緒に礼拝にご参加くださいました）

献金 大人5,000円 子ども310円 感謝

◎次週 2021年10月3日（日） 世界聖餐日（聖霊降臨節第20主日）礼拝

招きの詞 詩編 31編 22-23節

聖書 マタイによる福音書 21章 28-32節

メッセージ 「後の者が先になり、先の者が後になる」 牛田匡牧師

賛美歌 21-400番（©P.D.）、21-426番（©JASRAC）、21-409番（©JASRAC）

礼拝はインターネットで中継配信いたします。なお礼拝の中で、ユーカリスト（聖餐）を行う予定です。また礼拝後には10月期の「教会を考える会」を行う予定です。

◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂に届ける予定です。どなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大阪府を含む各地に「緊急事態宣言」が発表されています（9月30日までに延長）。ご自身が感染しないためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた医療現場をこれ以上崩壊させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただき、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・10月5日（火）11時～12時半にオンラインにて、大阪教区の信徒大会「苦難の中で互いに祈り合う～台湾・日本 合同祈禱交流会～」が開催されます。コロナ禍の中、直接集まることが難しい今だからこそ、これまで直接は会えなかった台湾の教会の方々との交流の時を持ってみましょう。今回、交流する「台湾基督長老教会日本語教会」は、台湾人によって建てられた珍しい歴史と経緯をもった日本語教会です。参加費は無料です。大阪教区の信徒大会ですが、ご参加を希望される方はご相談ください。申込期日は10月3日（日）まで延長されています。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
10/3	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	牛田牧師	ユーカリスト・教会を考える会
10/10		水谷牧師	(神学校日)
10/17		岡嶋伝道師	
10/24		牛田牧師	おにぎり支援